事業者排出量削減報告書

(+ 1)	京都府知事					b			
(宛 先) 報告者の住所(法)		報告を	老の氏名	(注人にお	<u>平成</u> っては、名称及	年 び代表:	<u>月</u> 老名) 目	
神奈川県川崎市川山		コス	トコホー	・ ルセールジ ケン テリ	ャパン株式会社	0 1 (32)	19/10	,	
			1 (3)		, , , ,	~			
ナ よ 7 世廷									
主たる業種						細分類番号	5	6	1 1
			_		1 項第 1 号				
事業者の区分	京都府地球温暖化対策条例施行規則								
計画期間									
計画期間	(1) 設備機器の効率的な連用によりエネルキー使用重の削減を行う								
基 本 方 針									
計画を推進するための体制	代表取締役を総責任者とし、倉庫店建施する						を中心に	に計	画を実
8707年前	温室効果ガスの排出の量	基準年度		1年度	第2年度		増	减	
温室効果ガスの排出の量	事業活動に伴う排出の量	(26~28) 年度	(29 2, 944)年度 . 2 トン	(30) 年月	度 (31) 年度	-8. :		パーヤント
	評価の対象となる排出の量	-	2, 944			トントン	0. (パーセント
	実績に対する自己評価					1			
原単位当たりの温 室効果ガス排出量 等	事業の用に供す原単位の指標	基準年度		1年度	第2年度		増	減	
	る建築物の用途 事業活動に伴う排出の量	(28) 年度)年度	(30) 年月	度 (31) 年度	-8, 34	4	
	(延床面積 27. 22464千㎡)	117. 98	-	108. 14			-8. 32	1	パーセント
	<u>事業活動に伴う排出の量</u> ()								パーセント
	実績に対する自己評価								
		基準年度 () 年度		1 年度) 年度	第2年度 (30)年月		備		考
重点的に第	き施する取組の実施状況 _	パーセント	(29	プー 一 サント	(30) 年)	- 14-			
具体的な取組及び措置の内容	(29) 年度								
	(30) 年度								
	(31) 年度								
通勤における自己 の自動車等を使用 することを控えさ せるために実施し た措置	措 置 の 内 容								
	上記の措置を実施した結果に対する 自己評価								
森林の保全及び整備、再生可能エネルギーの利用その 他の地球温暖化対策により削減した 量	区 分	第1年度 (29)年度	F		年度 年度	第3年度 (31)年度	備	İ	考
	森林の保全及び整備によるもの	(20) 13	トン	(00)	トン	トン			
	地域産木材の利用によるもの		トン		トン	トン			
	再生可能エネルギーを利用した電力 又は熱の供給によるもの		トン		トン	トン			
	グリーン電力証書等の購入によるも の		トン		トン	トン			
	温室効果ガス排出量の削減又は吸収 の量の購入によるもの		トン		トン	トン			
	승 카	0.0	トン	(0.0 トン	0.0 トン			
地球温暖化対策に資する社会貢献活									

- 注 1 該当する \square には、u印を記入してください。特定事業者以外で自主参加される事業者の方は、u印の記入は不要です。
 - 2 「細分類番号」とは、統計法(平成19年法律第53号)第2条第9項に規定する統計基準である日本標準産分類の細分類番号をいいます。 3 「基準年度」とは、計画期間の前年度又は計画期間の前の3年度の事業活動に伴う排出の量又は原単位の数値の平均をいいます。

動

記 事 項

4 「増減率」とは、基準年度と比較した計画期間の平均の増加又は減少の割合をいいます。 5 「重点的に実施する取組の実施状況」とは、温室効果ガスの排出の量を削減するために重点的に実施した取組の実施率を地球温暖化対策指針で 定める方法により算出して記入し、その算出の根拠となる資料を添付してください。